

自己評価報告書

令和4年2月

専修学校 徳島県美容学校

I 学校の現状

1. 学校名
専修学校徳島県美容学校

2. 所在地
徳島県徳島市佐古二番町3-5

3. 沿革
昭和30年 9月 私立各種学校徳島高等美容学校として認可
昭和30年10月 厚生大臣指定徳島県美容師養成施設として夜間課程、通信課程を創立
昭和33年12月 校舎移転
昭和34年 3月 養成所廃止 徳島県美容業環境衛生同業組合立徳島高等美容学校設立
昭和52年 6月 校舎移転
昭和57年 4月 昼間課程設立、夜間課程廃止
昭和61年 1月 校舎改装
平成10年 新制度に変更
平成12年 4月 専修学校に変更
平成22年 4月 新校舎設立

4. 学科の構成
衛生課程 美容科
衛生課程 美容ダブルライセンス科
衛生課程 別科 通信課程 美容科
衛生課程 別科 通信課程 美容ダブルライセンス科

5. 学生数及び教員の数
衛生課程 学生総数44名
衛生課程 別科 学生総数74名

II. 学校の理念、教育目標

教育理念

「笑顔と感謝の心」本校では、この言葉を重んじ、高い知識と技術のみならず、心ある人材を育成し、社会に貢献することを使命と考え、その基本姿勢を学則に記している。

(学則)

第1条 本校は教育基本法及び学校教育法並びに私立学校法に従い、人格の完成と、平和的な国家及び社会の形成者として、勤労と責任を重んじ自主的精神に充ちたる心身共に健康なる生徒を育成することを目指し、社会人としての教養と、近代的な感覚と、専門的な知識と技術を修得せしめ特に美容技術の研究研磨並びに衛生知識の向上をはかるを目的とする。

教育目標

・本校の教育理念に基づき、笑顔と感謝の心を忘れない、人として魅力ある人間性豊かな人材を育成する。

III. 令和3年度の重点目標

目標

国家試験対策の強化

基本的な接遇・マナーの向上。技術の基礎を疎かにせず、しっかりと修得する。将来像を明確にもち、必要とする知識と技術の修得を図る。

計画（目標達成の為の具体的計画）

あいさつ運動の成果か、学生が挨拶をよくするようになった。礼儀をしっかりと身に付けた美容師の育成を今後も続ける。

将来像について、しっかりと考える場をつくり、明確に自分の就職について目標を立てる。目標達成の為に必要な知識と技術は何なのかを自ら考え修得できるようにする。

学生の目標を明確にし、国家試験合格や大会に対し、積極的に取り組ませる。

IV. 評価項目別評価報告

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色を定めているか	3
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

【具体的な取り組み】

学校における理念や目標はしっかりと定まっている。また、育成人物像もしっかりとしたものを定めている。高校ガイダンスや、説明会、学校まわりでは、その目標や人物像についても説明をし、周知を図ってきた。

コロナ禍にあって、社会経済も不安定な今、できる限り学生たちには自分を持ち、人を傷つけたり、偏見を持ったりしないような人間になって欲しいと、常に「笑顔」を心掛け、挨拶をするよう、毎日玄関に教員が立ち学生を迎え入れている。

業界や社会のニーズを把握するよう、また、それに応えられるよう企業と密に連絡を取り、協力を仰ぎながら、業界が必要とする美容師像、学生に今のうちに学んで欲しい事などリサーチをした。

【課題と今後の改善策】

外部へ向けての目標、人物像は説明の機会もあり、昨年より周知が徹底してきたが、肝心の在校生、またその保護者に向けた周知をする機会が少なく、周知不足感も否めない。

また、目標とする人物像育成の為の具体的なカリキュラムであったり、その指導方法などが曖昧であり、画一的な指導方法、教員間での意思の共有がまだまだ弱い。確固たる目標があるので、それに向けた指導方法・内容について、教職員でもっと話し合い、具体的な策を講じることが大切である。

社会のニーズ等を踏まえ、本校の将来構想を教職員で話し合う必要がある。その際には、必要に応じて企業の幅広い年齢層のオーナーの方々から意見を集め、学校の構想と現実のニーズに開きがないか等確認する。

(2) 学校運営

評価項目	評価
・ 目的に沿った運営方針が策定され、それに沿った事業計画が策定されているか	3
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	3
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【具体的な取り組み】

イベントや式典などが開催された時には、いち早くHPに載せるなど情報発信ができています。また、オープンキャンパスなどは、学校の公式LINEを作成。それを使用し、広く発信を行っている。予約もLINEでできるようになり、学生が電話をするといった煩わしさを払拭した。学生によっては、電話をするというひと手間がハードルに感じる者もいたり、本校の就業時間内に連絡をしなければならないという制約がかかってしまったりしていたので、いつでもどこでも予約ができるLINEの導入は好評を得ている。事業計画も毎年3月に立てている。

【課題と今後の改善策】

事業計画は、毎年3月には立てているが、それを実行するための具体的な日程調整、計画の詰めの甘さが見られる。イベント開催の具体的な日程や、行事日程を立ててからの、それに向かうまでの準備期間の確保。何が必要で、どれくらいの期間がかかるのか。逆算と計画をもう少し詳細に立てる必要がある。早めに計画を立て、行事・授業がスムーズに行われるように取り組む。また、イベント等の計画を立てる際は、皆で意見を出し合い、時間をかけて念入りに計画を立て、土壇場で慌てないようにする。

(3) 教育活動

評価項目	評価
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3

評価項目	評価
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得する為の研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4

【具体的な取り組み】
<p>卒業までに修得するべき技術、知識の目標はしっかりと立てている。国家試験は学校の主な目標となっており、それを目指したカリキュラムになっている。国家試験合格率100%を目指して、学科・実技共に対策を行っている。通信課程の学生向けには、週に1回の授業にプラスし、夜間のスクーリングを開講するなど、フォロー体制も整えている。</p> <p>教員研修については、コロナウイルスの為、今年は研修会や講習会に参加できなかったが、遠隔講習などには参加するようにしている。</p>

【課題と今後の改善策】
<p>国家試験対策が万全な一方で、多種多様な美容師に求められるニーズに対応する知識や技術の習得の場が少なく感じる。大会等のイベントは毎年行われているが、もっと多彩な技術にも触れられるように、外部講師を積極的に取り入れ授業の幅を広げていきたい。組合立のメリットをもっと活用し、本校の強みとしていきたい。また、組合の横の繋がりなどを広く使い、美容業種に括らず、他業種の方の講義を聞くなど、学生の知見を広げていきたい。</p>

(4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	4

【具体的な取り組み】

就職率は大変良い。美容業全体を見ても求人は毎年多数の依頼がある。本校が組合立である為、県内就職については、何の問題もなく就職することが可能である。また、県外からの求人も多い。

担任制を導入し、学生が教員に相談しやすい環境を作っている。個別での相談もその都度、担任が対応し、保護者との連携も取りやすくなっている。

資格についても美容師免許の資格はもとより、メイクやネイルなど美容業に付随する技術の認定試験も行っており、希望者は卒業までに多数の資格がとれる体制となっている。また、その資格受験対策もとれており、受験者に対しては選択授業として必要時間の授業を受けることができるようになっている。

【課題と今後の改善策】

就職については、卒業するまでにほとんどの学生が決定することができているが、中には、県外美容室を希望の学生が、オンラインでの面接を指定され、やり方が分からないとか、場所がない等の相談を受けることがある。学校でできる範囲で対応をしているが、これからどんどん増えてくることを考えオンラインの使い方講習も必要になってくると思われる。

退学者の低減、資格については、来年度も十分に対策をとって行っていきたい。

(5) 学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4

【具体的な取り組み】

・本校は、担任制をとっている為、就職や学生相談についても相談しやすい閑居うが整っている。また、直接の相談も個別に受け付けているが、直接話しをするのが苦手な学生については、学校のLINE等のツールを使っての相談も受け付けている。学生からの相談に乗りつつ、保護者と連絡を取った方がいいと判断した場合には、保護者と連携もとっている。

学生の健康管理は、コロナ禍でもあることからより慎重に行っている。毎日の検温から始まり、体調の変化には敏感に対応している。

【課題と今後の改善策】

・高校からの進学や、社会人からの進学と広い年齢層の学生がいるが、環境の変化に敏感な学生は、体調を崩しやすかったり、気持ちの変化が大きかったりするので、できる限り安心して学生生活が送れるように支援をしていく必要がある。体調の変化や、気持ちの変化を敏感に察知し、早めに対応できるように日頃から目を配っておく。特に1年生は、新しい環境に適応していく過程で、些細なことがきっかけで体調を崩したり、気持ちが落ち込んだりしやすいので、担任、副担任を軸に学校全体で見守る体制を取っていく。

(6) 教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	4

【具体的な取り組み】

設備は、教育上十分整っているが、サロンワークを学ぶとなると、学校にサロンのロールプレイングができる環境がない為、校内で経験を積むのは難しい。昨年までは、収納が少なく入りきらなかったものが部屋の片隅に置かれることもあったが、今回倉庫を増やした為、収納スペースが広がり部屋を広く使うことができるようになった。

【課題と今後の改善策】

即戦力を培うために、学校で経験できないサロンワークを県内美容室にご協力頂き「インターンシップ」を行うことで補っていく。
防災については、引き続き訓練を行う。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3

【具体的な取り組み】

学生募集の方法として、各高校に訪問し、進学指導の先生や時には3年生の担任の先生と話しをし、資料を配布している。また、オープンキャンパスなどは、各教室にチラシを貼って頂いている。また、ガイダンスや体験学習にも積極的に参加するなど行っている。
10月頃までオープンキャンパスも毎月開催している。特に夏休みには、本校の2年生によるショーを開催するなど、学生も高校生も双方が楽しんで頂けるようなイベントを心がけている。
イベントなどはHPに情報を公開している。

【課題と今後の改善策】

早い目に県内高校をまわり、進路指導の先生に学生の様子とオープンキャンパスの案内を行う。ガイダンスも上手く使いながら、学校を知って頂くこと、オープンキャンパスに来て体験して頂くことを目標に周知を図る。HPやSNSも上手に活用しながら、広告を行う。

(8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	3

【具体的な取り組み】

前年度の実績や事業案を踏まえて、収支の見通しを立てており、妥当なものとなっている。
財務情報は、HP等で公開している。

【課題と今後の改善策】

財政基盤の安定を図り、事業計画に基づいた収支の見通しをしっかりと立てる。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公表しているか	3

【具体的な取り組み】

法令については遵守し、適正に運営を行っている。
書類管理はしっかりと行われ、個人情報は、鍵のかかった書棚で管理している。パソコン上でも、パスワードをかけるなど、保護の徹底を行っている。
自己評価は、年2回行い、教職員全員で意見を出し合い、改善に繋げている。
報告書は、HPに掲載している。

【課題と今後の改善策】

引き続き、適正に運営を行っていく。
自己評価については、今後も年2回行い、それをもとに委員会で改善点等を議論し、学校運営に役立てていく。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3

【具体的な取り組み】

学生達にとっては、学校の中だけの教育になっている。将来を見据えて、課外活動を行う。

【課題と今後の改善策】

ボランティアとして、まずは学校回りの清掃などから行い、地域貢献の大切さを学ぶ機会を作ると共に、地域の一員としての役割を自覚できるような活動を行う。
地域貢献を目的とした活動を通して、地域から信頼される学校になるよう努力する。